

- 【重要ポイント】
- ①牛糞堆肥は完熟物を使用し、タネバエや強害雑草を防ぐ
 - ②明渠と地下排水を促す排水対策を行う
 - ③虫害、鳥獣害を予防する
 - ④基肥を全面施肥して雑草に負けない初期生育を促進する
 - ④生育を妨げる雑草の防除を徹底する
 - ⑤水稲を含む輪作体系で強害雑草を少なくする

令和7年度 飼料(WCS)用トウモロコシ栽培こよみ

目標収量: 4, 000kg／10a

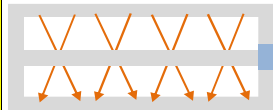
令和7年5月

島根県畜産技術センター

島根県東部農林水産振興センター出張事務所

月 旬	4月			5月			6月			7月			8月																		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																
生育ステージ				発 芽	3 から 5 葉期			6 から 7 葉期			絹 糸 抽 出 期			雌 穂 の 登 熟			水 熟 期			乳 熟 期			糊 熟 期			黄 熟 期			完 熟 期		
主な作業	ほ場準備	基 肥	鳥害対策	播 種	除草剤散布	害虫防除	獣害対策	除草剤散布	追 肥	害虫防除	倒伏被害				ラッピン 穫																
主な管理作業の内容	◎ 条間70cm 株間19cm 覆土23cm ◎ 条播のち鎮圧（真空播種機で播種時に鎮圧） ◎ 播種量10アール6,000g、500粒 ◎ 種子への鳥忌避剤の処理 ◎ 播種は日平均気温10度以上 ◎ 基肥の均一散布もしくは側条施肥 ◎ 明渠とサブソイラー施工で落水口への排水促進 ◎ 耕起し除草の土壌処理のための十分な砕土と整地 ◎ 完熟した牛糞堆肥10アールにあたり3.5トン															◎ 向かない ◎ 完熟期では子実、雌穂の軸、茎が硬くなり、WCS飼料には ラップは基本6重巻き、長期保存8重巻き ◎ 地面から15cmの高さで刈り、1.9cmに微細断して ◎ 収穫期は水分70%程度になる黄熟期ごろ ◎ 子実をつぶすと粘りのある糊状の液が出る時期が糊熟期															
	* 農薬を使用する前には必ずラベル表示を確認しましょう！																														

■ほ場の排水対策の例



■ 落水口 ■ サブソイラー
■ 明渠

■鳥害防止忌避剤使用基準

名 称	使用時期	使用量	使用回数	使用方法
キヒゲン	は種前	乾燥種子重量の1%	1回	種子粉衣

効果を高めるには、粉衣済みの種子にさらに粉衣する

■品種と播種方法

品 種	播種時期	粒数(107ールあたり)	条間(センチメートル)	株間(センチメートル)
ファームデント118(ファームテックジャパン)	4月上旬～5月下旬	6,000～6,500	69	24～22
ゴールドデントKD731(カネコ)	4月上旬～5月下旬	6,000～6,500	69	24～22
サイレージコーンNS125(カネコ)	4月上旬～5月下旬	6,000～6,500	69	24～22
スノーデント125T(雪印)	4月上旬～5月下旬	6,000～6,500	69	24～22

■107ールあたり施肥設計例(単位キログラム)

堆肥3トン

肥料名	量	チッ素	リン酸	カリ
化学肥料 投入量		10～12	12～15	6～8
ゼンラク303号 (13-20-13)	100	13	20	13

堆肥5トン

肥料名	量	チッ素	リン酸	カリ
化学肥料 投入量		8～10	10～12	5～7
ゼンラク304号 (13-20-4)	30	3.9	6	1.2
ゼンラク223号 (12-12-13)	30	3.6	3.6	3.9
計	60	7.5	9.6	5.1

■カブラヤガ等(ネキリムシ類)殺虫剤使用基準

資材名	使用時期	薬量(107ールあたり)	使用回数	散布方法
ガードベイトA	生育初期、但し、収穫14日前まで	3kg	4回以内	株元散布

■除草剤使用基準

除草剤名 特長	使用時期	薬量(107ール あたり)	希釈水量(10 7ールあたり)	使用回数	散布方法
ゲザノンゴールド (土壌処理剤) 一年生雑草	は種後発芽前(雑草発生前)	140～260 ミリリットル	70～150 リットル	1回	全面土 壌散布
ブルーシアフロアブル 一年生雑草	とうもろこし3～5葉期の場合、但し、収穫45日前まで	40～50 ミリリットル	50～100 リットル 少量散布25 ～50リットル	1回	雑草茎 葉散布 又は全 面散布 無人航空 機による 散布
	とうもろこし6～7葉期の場合、但し、収穫45日前まで	50～75 ミリリットル	100～150 リットル		
	とうもろこし3～7葉期 但し、収穫45日前まで	50 ミリリットル	0.8～3.2 リットル		

■残草処理を要する場合

ワンホープ乳剤 一年生雑草 多年生イネ科雑草	とうもろこし3～5葉期、 但し、収穫30日前まで	100～150 ミリリットル	70～100リッ トル	1回	雑草茎 葉散布 又は全 面散布
バスタ液剤 一年生雑草	収穫7日前まで(雑草生育期:は種前又は畦間処理)	300～500 ミリリットル	100～150 リットル	3回以内	雑草茎 葉散布

■主な害虫



■殺虫剤使用基準

適用害虫名 農薬の種類	使用時期	使用液量(107ール あたり)	希釈倍数	使用回数	使用方法
アワノメイガ バダンSG水溶剤	収穫21日前まで	100～300リットル	1000倍	2回以内	散布
アワノメイガ トアロー水和剤CT	発生初期但し収 穫前日まで	100～300リットル	1000倍	-	散布
アワヨトウ 登録農薬なし					

■葉期の数え方、結糸抽出日、黄熟期の目安



「リーフカラー(カラー)」を数える



黄熟期の目安は雌穂の上位3分の1部分を
折って先端側を確認し、
黄色(デンプン)と白色(乳汁)の割合が
1/2になるミルクラインを形成した時